令和２年２月９日
NPO 法人四季の森里山研究会
担当　武本　中島　上野　倉重

自　然　観　察　会　資　料

「里山の春を探しに」

四季のある日本では
「春」は生き物にとって大変重要な時期です。
子孫を残すためのスタートの時期だからです。
　植物は？　野鳥は？　昆虫は？

-----小さな春を探してみよう-----

1. 春の到来を待っている植物たち、芽を出しているだろうか？
　冬芽は膨らみ始めているだろうか？
　*カタクリ・エビネラン・フクジュソウ・キブシ・マンサクの芽は？
　*ヤマアカガエルは産卵しているか？
　*カワセミ・シジュウカラはつがいの相手を見付けたかな？

2　森林の話
　「虫こぶ」の話

2. 身近な爬虫類や両生類なのに知らないことが多い
　ヤモリ　家守
　イモリ　井守
　トカゲ　蜥蜴
　ニホンカナヘビ

4　メジロの巣　蜂の巣　を見た後で驚くこと
　親に教わらずに巣を作り、子育てができるのか？
　人間には絶対できない。
・キボシトックリバチ　　水に強いドロの巣　5～８個の壺に青虫の餌
　上塗りをし厳しい冬対策とキセイバチ対策を施す。